

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 R6 花巻～松尾八幡平間舗装補修工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>特記仕様書 P21、22、24 にオーバーレイ工 B (t=4 cm) と表層用混合物タイプ B 及びレベリング工 アスファルト混合物 (タイプ B) と表層用混合物タイプ B の関係性が記載されておりますが、標準横断面図に上記の混合物の組成断面が見当たりませんが図面の記載漏れでしょうか。ご教示願います。</p> <p>また、使用する標準断面図の開示をお願いいたします。</p>	<p>オーバーレイ工 B(t=4cm)と表層用混合物タイプ B、アスファルト混合物 (タイプ B) と表層用混合物タイプ B の舗装構成は、参考図の橋梁施工ステップ図 (1)、(2) に記載のとおりです。</p> <p>また、舗装厚は、標準横断面図に記載されている橋梁と同様の表層 4cm、レベリング層 3.5cm となります。</p> <p>なお、橋梁施工ステップ図 (2) の一覧表に施工延長と施工幅員 (平均) を追記するため、後日交付図書を訂正いたします。</p>
2	<p>特記仕様書 P26 22-5-6 試験舗装に記載のある舗装組成及び施工面積と割掛対象表参考内訳書 P3【雑工事費】の試験舗装費の舗装組成及び施工面積に相違が有りますがどちらが正でしょうか。ご教示願います。</p> <p>2プラントで高機能舗装Ⅱ型用混合物の舗装厚 4 cm と 5 cm を施工するとなると 300 m<sup>2</sup>ではなく 450 m<sup>2</sup>ではないでしょうか。</p> <p>開粒度アスファルト混合物試験舗装厚さ 10 cm (特記記載) だとすると 1 層施工 開粒度 4 cm (割掛け記載) ではないのではないのでしょうか。</p> <p>また、基層用遮水性アスファルト混合物の 6 cm は、重複して試験施工するのでしょうか。</p> <p>2プラントでどの舗装構成をどれだけの面積で行うのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>試験舗装の記載に、特記仕様書と割掛対象表参考内訳書で誤りがありました。</p> <p>正しい試験施工の数量は以下のとおりになります。</p> <p>2層施工① 2プラント 150m<sup>2</sup>/プラント  高機能Ⅱ型 4.0cm-300m<sup>2</sup>  FB13 3.5cm-300m<sup>2</sup></p> <p>2層施工② 1プラント 150m<sup>2</sup>/プラント  高機能Ⅱ型 5.0cm-150m<sup>2</sup>  遮水性基層 6.0cm-150m<sup>2</sup></p> <p>2層施工③ 1プラント 150m<sup>2</sup>/プラント  開粒度 4.0cm-150m<sup>2</sup>  セメントミルク注入工 A(t=4cm) (PA) -150m<sup>2</sup>  遮水性基層 6.0cm-150m<sup>2</sup></p> <p>なお、上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
3	<p>昼夜連続規制での施工の場合、割掛対象表参考内訳書に記載のある工事用機械は作業終了後、日々回送せず規制内に存置で施工最終日に引き上げと考えてよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p> <p>なお、割掛対象参考内訳書に記載する運搬回数に誤りがあったため、後日交付図書を訂正いたします。</p>

4	<p>昼夜連続規制内での切削オーバーレイ工を施工する場合の作業終了時の既設表層面と日々施工終了時の切削完了仕上り面、舗設仕上り面との段差は、何cmまでとお考えでしょうか。路盤仕上り面、Aba 仕上り面、Bi 仕上り面での状態での作業終了は、いずれの場合も可能でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>昼夜連続規制における切削オーバーレイ工において、作業終了時に許容する既設路面との段差は、10cm までとなります。そのため、舗設の仕上がり面は、アスファルト安定処理路盤仕上り面、基層仕上り面で日々施工終了が可能です。</p>
5	<p>橋梁部の標準断面図でレベリング工の検測範囲について追越は 20cm 少なく、走行は 20cm 多いと思うのですが、どの数値が正でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>橋梁部の標準横断面図で施工幅に誤りがありました。 正しくは、ご指摘のとおり走行が 20cm 少なく、追越側が 20cm 多い値となります。 例) 横断面図 36 施工幅 走行側 : W=6700mm、追越側 : W=4450mm 上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
6	<p>平面図 (2) の上平沢橋の延長が L=59.000m と記載されてますが KP 間の計算をすると L=39.000m ではないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (2) の上平沢橋の延長に誤りがありました。 正しくは、L=39.000m になります。 上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
7	<p>排水ます等を控除したレベリング、防水、オーバーレイ等の数量一覧はありますでしょうか。あれば開示願います。</p>	<p>数量一覧はありません。 なお、レベリング、防水、オーバーレイ等の数量は、排水ます等を控除した数量で記載しております。</p>
8	<p>矢巾 PA ランプの区間標示はありますでしょうか。明示願います。</p>	<p>矢巾 PA ランプの区間標示はありません。</p>
9	<p>盛岡南 IC ランプの区間標示はありますでしょうか。明示願います。</p>	<p>盛岡南 IC ランプの区間標示はありません。</p>
10	<p>平面図 (31) の下り 525.400KP~525.522KP 間は横断面図⑦ではないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (31) の横断面図の記載に誤りがありました。 正しくは、下り線 525.400KP~525.522KP 間は横断面図⑦となります。 上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>

1 1	<p>平面図 (31) の下り 525.800KP～526.250KP 間の Asb の数量は 1400m<sup>2</sup> となっておりますが、KP 間を計算とすると L=450m となり 1575m<sup>2</sup> ではないでしょうか。それとも最終 KP が 526.200KP で L=400m の 1400m<sup>2</sup> でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (31) 平面図 (32) の区間、数量の記載に誤りがありました。  正しくは、下記のとおりとなります。  区間：下り線 525.800KP～526.200KP  切削オーバーレイ工 K II (t=10cm) : 1740m<sup>2</sup>  切削オーバーレイ工 Asb (t=15cm) : 1400m<sup>2</sup>  上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
1 2	<p>平面図 (35) の下り 533.000KP～533.200KP 間は横断図 24 ではないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (35) の横断図の図字に誤りがありました。  正しくは、下り線 533.000KP～533.200KP 間は横断図 24 となります。  上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
1 3	<p>平面図 (38) の下り終点 KP は 537.010KP ではないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (38) の区間の記載に誤りがありました。  正しくは、下り線 535.993KP～536.010KP となります。  上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
1 4	<p>平面図 (42) の下り 541.371KP～541.410KP 間は横断図 28 ではないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>平面図 (42) の横断図の記載に誤りがありました。  正しくは、下り線 541.371KP～541.410KP 間は横断図 28 となります。  上記について、後日交付図書を訂正いたします。</p>
1 5	<p>数量明細表の橋梁部数量について一部図面旗揚げがなく確認出来ません。  (水分川橋、七滝川橋、大谷地橋、巣子第一橋)  また構造図番号はどれに当てはまるのかご教示願います。  平面図 (41) の赤川橋が橋梁ステップに反映されていません。また防水工の旗上げがありません。</p>	<p>水分川橋、七滝川橋、大谷地橋、巣子第一橋の施工数量については、参考図の橋梁施工ステップ図 (2) の一覧表のとおりとなります。  また、構造図番号はありません。  平面図 (41) に記載されている赤川橋については、床版調査や床版防水を行わず、舗装補修のみの施工となるため、橋梁施工ステップ図に反映しておりません。</p>